

指導対策部会 令和 6 年度事業実績

1 山岳遭難防止対策

遭難事故防止パトロールの実施

各支部の協力を得て、当協議会管轄の山岳にて山開きや休日等多数の登山者が予想される時期にパトロールを実施、指導標の確認を行い、遭難事故の未然防止を図った。

2 研修会の開催

山岳遭難防止及び安全対策として研修会を 2 回実施した。

【第 1 回】

- (1) 名 称 令和 6 年度第 1 回道北地区山岳事故等防止セミナー
- (2) 日 時 令和 6 年 1 2 月 7 日 (土) 13:30～16:00
- (3) 場 所 東川町複合交流施設 せんとぴゅあ I コミュニティホール
- (4) 内 容 講 話
「冬の装備を再チェック～着るべきウエアと最適な組み合わせ～」
講師：Transit 東川 林 拓郎 氏
- (5) 参加者 13 名

【第 2 回】

- (1) 名 称 令和 6 年度第 2 回道北地区山岳事故等防止セミナー
- (2) 日 時 令和 7 年 2 月 8 日 (土) 9:00～12:00
- (3) 場 所 旭川市教育委員会社会教育部旭川市科学館サイパル
- (4) 内 容 座学及び屋外での体験学習
「雪崩のメカニズム」
講師：大西 人史 氏、竹内 史郎 氏
(雪崩事故防止研究会、上富良野冬期山岳事故防止委員会 所属)
- (5) 参加者 12 名
※注 本セミナーは旭川市科学館サイパルと共催で実施しており、定員はサイパルと講師間で相談し決定している。

3 広報活動

啓発資材の配布による広報活動促進

国立登山研究所の協力の元、「セーフティカード」夏版 2000 部を提供いただき、各支部及びロープウェイ入口あてに配布することにより、遭難防止啓発広報活動をおこなった。

また、道警による山岳遭難救助合同訓練実施と併せて、ロープウェイ駅舎等で啓発資材を配布し、バックカントリースキーヤーへの注意喚起をおこなった。